



Monthly Report

インスピレーションになろう

RI会長：バリー・ラシン 会長：篠田日出海 幹事：多田耕三
例会場／JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30～13:30



2018-19年度 2月20日 第31回

日時／平成31年2月20日(水)12:30～
場所／JRホテルクレメント高松

職業奉仕賞受賞記念卓話 aste 代表 田中志歩様 「バングラデシュの少数民族の村に学校を！」

私たちの活動地であるバングラデシュチッタゴン丘陵地帯に暮らす少数民族クミの村は今も伝統的な生活が営まれています。今もクミの村のほとんどには学校がなく、学びたい気持ちはあるものの、学校そのものに触れたことのない生活を送っていく子どもたちも少なくありません。そんな現状を変えようと、クミ民族の人々が自分たちの力で作った「日の出小学校」をasteはサポートしたいと思い、現在校舎設立資金を募っている状況にあります。現地の皆さんと一緒に完成を目指して今年も頑張っていきます。

最後になりましたが、この度は光栄な賞をいただき本当に嬉しく思っております。いつも暖かなご協力をしてくださっている皆様のおかげで活動ができていくありがたさを改めて感じました。ありがとうございます。この期待にそえるよう、これからはより一層活動に注力していきたいと願っております。今後もしよろしくお願いたします。

2018-19年度 2月27日 第32回

日時／平成31年2月27日(水)12:30～
場所／JRホテルクレメント高松

会長(代理)挨拶 直前会長 岡林正文

先週、山口県に行き、松下村塾を初めて訪れました。松下村塾は、江戸時代末期に現在の山口県萩市にあり、吉田松陰が指導していた私塾です。8畳一間の小さな家です。2015年にユネスコの世界遺産に登録されました。松陰は短い期間しか指導できませんでしたが、松下村塾は、伊藤博文を始めとする幕末から明治の日本をリードした多くの人物を輩出しました。そこで、山口県出身の総理大臣を調べてみました。明治維新以降の歴代総理大臣62名中、8名が山口県出身です。次に多いのは東京都の5人、岩手県と群馬県が4人で続きます。8名について簡単にご紹介します。

1. 伊藤博文

高杉晋作、桂小五郎らと尊王攘夷・討幕運動に参加し、明治維新後の初代総理大臣に44歳の若さで就任しました。

2. 山県有朋

同じく松下村塾の門下生です。東京(目白台)に椿山荘という山県有朋の屋敷あとが残っています。敷地内には藤田観光のホテルがあり、2012年末までフォーシーズンズと提携していました。夏は庭にホタルを放流する見事な庭園をもつホテルです。庭は一般に開放されています。

3. 桂太郎

在任中に日露戦争の勝利があり、拓殖大学の創立者です。

4. 寺内正毅(まさたけ)

5. 田中義一

6. 岸信介(のぶすけ)

旧姓は佐藤、中学の時、婿養子だった父親の実家の養子になりました。

7. 佐藤栄作

岸信介の実弟。沖縄返還を実現し、昭和49年にノーベル平和賞を受賞しました。

8. 安倍晋三

出身地は東京ですが、本籍が長門市で選挙区も山口県4区。安倍晋太郎の息子で祖父が岸信介、大叔父が佐藤栄作という家柄です。

2018-19年度 3月4日 第33回

日時／平成31年3月4日(水)18:30～
場所／JRホテルクレメント高松

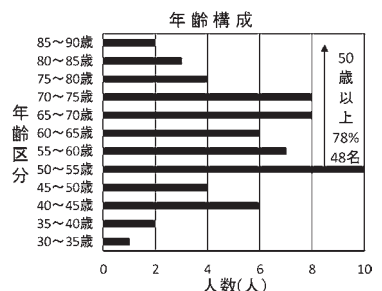
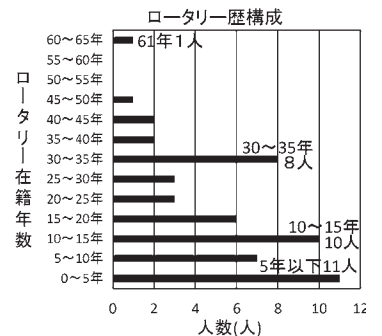
会長挨拶 会長 篠田日出海

今日は、高松北ロータリークラブさん(以下“北クラブ”)と高松南ロータリークラブ(以下“南クラブ”)の合同例会で、北クラブのホーム例会にて合同で例会を開催する運びとなりました。この合同例会開催の経緯は、先日の香川第I分区の会長幹事会で、北クラブの中塚会長から北クラブ創立の時のスポンサークラブが南クラブだったので、合同例会を行いませんかとの提案がありました。それまで、私共の南クラブが北クラブのスポンサークラブだったとは存じ上げませんでした。私も是非とも合同例会開催と同意思した次第です。

折角の合同例会ですので、私共の南クラブの概要を簡単に紹介致します。

まず、会長篠田日出海、幹事多田耕三他の理事役員とで、現会員61名でございます。

クラブ創立は、1957年4月26日に高松RCがスポンサークラブで発足しました。今年の春に創立62周年を迎えます。創立から約半年後に入会されたのが、パストガバナーの太田英章会員であります。ロータリー歴は20歳代で入会され、創立年度



例 会

から在籍61年2ヶ月と最長在籍です。会員のロータリー歴分布では、在籍0年～5年が11人で最も多く、ついで10～15年在籍が10人です。年齢構成は、平均61歳、最年長86歳、最年少34歳、50～55歳が10名で最多で、50歳以上が会員の78%48名で少子高齢化となっています。

創立以来、地区ガバナーを5名輩出しており、その内2パストガバナーが現役会員で、本日出席されていますので、後ほどの懇親会で皆さん大いに懇親を深められることを期待しています。

今期のクラブ方針を「奉仕活動に積極的参加を！」と定めて、早明浦ダムの上流下草刈りや高松クリーンデイの参加等の労力的奉仕活動や高松養護学校夏季集中研修会や米山奨学会寄付等の金銭的奉仕も進めています。まだまだ奉仕活動を活発化しなければと思っています。

クラブ概要の紹介は、まだまだあるのですが、話しが長くなりますのでこの辺りで終わりたいと思います。我がクラブが抱えている問題は、会員の増強と例会出席率の向上です。本日の合同例会の出席率は71%で、この出席率向上も喫緊の課題であります。

最後になりましたが、この合同例会の準備・運営に大変な労力を費やされました北クラブ中塚会長、渡辺幹事、岡内副SAAはじめ、北クラブの皆さんにお礼申し上げます。

本日の合同例会、大いに懇親し、楽しみ、有意義な会にしましょう！

幹事報告

3月9日 IM参加のお願い

誕生日は来週お渡しいたします。

乾杯挨拶

パストガバナー 太田英章

皆様今晚は。パストガバナーの太田英章です。ロータリー歴61年を迎え、四国地区3000人ロータリアンの中で、一番古くなってしまいました。高松南ロータリークラブは創立1957年、61年前の事でした。高松北ロータリークラブは創立1980年、39年前の事でした。高松北ロータリークラブ創立時のガバナーは、くしくも、高松南クラブの近藤良一さんと、その時の生みの親である、特別代表は高松南クラブの千切谷博さんと、私たち両クラブは、大変深いご縁で結ばれています。高松北クラブがその後大発展して、今では、会員数90名という一大勢力になっておられることは、たいへん、喜ばしい限りであります。そこで高松北クラブも、そろそろガバナーを出してもいい頃と思って、私は密かに合田さんをそそのかしていたのですが、あの様な突然の不幸に合い、残念でした。

ガバナーといえは今まで高松から輩出した人々は、高松クラブから、三宅徳三郎大先生が2度、中川昌一さん、三宅俊三さん、三宅洋三さんと計5回。高松南クラブから渡部兼勇さん、近藤良一さん、牟礼米一さん、太田英章、豊田章二さんと計5回。高松西クラブから木村大三郎さん。高松東クラブから今度篠原徹さんが決定しています。

この次は是非高松北クラブから出してもらいたいと期待しています。それまでクラブ内で、良く切磋琢磨されて、実力を蓄えてもらいたいと思います。

それでは私たち南北両クラブの一層の発展を祈念して乾杯しましょう。乾杯



ニコニコ箱

前田会員「本日は北ロータリーと合同例会と言うことで、楽しみにしてきました。よろしくお願ひします。」

岡(隆)会員「合同例会万歳～!!」

多田幹事「第1回合同例会が開催できることを嬉しく思います。」

篠田会長「合同例会準備ご苦勞様でした。」

堀(祥)会員「合同例会、お世話になりました。」

今城会員「合同例会ありがとうございます。」

岡(佳)会員「本日は合同例会を開催して頂きありがとうございます。」

田中(理)会員「本日は楽しい合同例会を開催して頂き、ありがとうございました。」

田村会員「北RC様設営ありがとうございます。記念すべき会で早退して申し訳ございません。お先に失礼致します。」

合田会員「合同例会のご準備ありがとうございました。」

計¥22,000 合計¥417,670

会員掲示板

- メイクアップ
- ロータリーソング
- 豊田PDG、新地会員、森(恒)会員、前田
- 「国家」「奉仕の理想」
- 会員、松本会員、岡林会員、田中(理)会員

2018-19年度

3月13日 第34回

日時/平成31年3月13日(水)12:30～

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 篠田日出海

先週の高松北ロータリークラブとの合同例会、如何でしたか。私は入会12年ですが、他のクラブと合同例会を行ったのは今回が初めてでした。両クラブ会員の懇親が図られて大変良かったと思っていますし、両クラブの皆さんからも多くの情報交換が出来て良かったとの声も聞いています。

先週の8日には、私共のクラブが支援しています「高松養護学校平成30年度卒業証書授与式」すなわち卒業式に列席して参りました。卒業生は、小学部6名、中学部7名、高等部13名でした。身体的障害を抱えている在校生および卒業生の送辞・答辞に、大変感激しました。在校生から卒業される上級生への感謝の言葉、卒業生からは明日へ向かって羽ばたく決意、未来への希望が語られました。彼らの成長に、我がクラブの支援も少しは役立ったかなと独り言ちしてしまいました。

翌9日には、国際ロータリー2670地区香川第I第II分区のIM(Intercity Meeting)に出席しました。IMとは、「IMの会合で、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的」となっているとの事です。今回のIMのテーマは、「次世代を担う子供たちについて考える」で、第1部でシンポジウム「大人の事情・子供の事情」とのサブテーマで「子ども食堂」等について、パネラーの方々がディスカッションされました。なお4月の例会で、この「子ども食堂」についての客話が行われると聞いています。第2部の公開記念講演で歌手のアグネス・チャンさんが、「みんな地球に生きる人～次世代を担う子供を

例会

育てる」との演題で日本ユニセフ協会大使として、発展途上国で支援活動した時の事などを織り交ぜて講演されました。

さて、今月は国際ロータリーの「水と衛生月間」です。IMでアグネス・チャンさんが講演したユニセフの支援活動で、「水」の大切さについても触れられていました。ここ香川県の「水」と言えば香川を代表する**疏水遺産の“香川用水”**です。本日は、この香川用水を管理運用されておられます香川用水土地改良区の金澤総務課長様に客話をしていただきます。今年は、香川用水完成45周年かとも思いますが、私も建設期間中に数カ所の水路設計をしたのを思い出したりしています。皆さんも本日の客話で安心安全な生活を支えてくれる「**香川用水について**」もっと知識を深められることを希望しています。

幹事報告

- 会員数：61名 3月Rレート：110円（2月：110円）
- 3月4日（月）第一回高松北&高松南合同例会開催
出席者 37名（高松南） 70名（高松北）
- 3月9日 IM開催 参加者13名+家族1名
- 3月31日 地区研修・協議会（アスティとくしま）
- 4月24日 創立62周年記念例会・新会員歓迎例会（夜間例会）
- 5月1日 休会（即位の日）
- 米山功労感謝状を高松南RCクラブへ頂きました。
- 例会変更 他クラブ WB掲示

ココココ箱

太田PDG「結婚記念日の花、デンドロビウムありがとうございました。その昔、米国の大学で勉強したデンドロジー（樹木学）を思い出しました。結婚61周年ですからダイヤモンド婚プラス1年です!!」

秋山会員「結婚記念の花、ありがとうございました。無事に34年経過しました。」

前田会員「お先に失礼します。まだ米山寄付をされていない方は、できましたら寄付をよろしく願います。」

計¥9,000 合計¥426,670

会員掲示板

- メイクアップ
上村会員、中村(厳)会員、堀(祥)会員、中村(耕)会員、岡林会員、篠田会長、詫間会員、田中(理)会員、多田幹事、豊田PDG、森(恒)会員、林会員、讃井会員、高島会員、田村会員、太田PDG、熊田会員、増尾会員
- ロータリーソング
「我等の生業」
ソングリーダー
中村(耕)会員

2018-19年度 3月20日 第35回

日時／平成31年3月20日(水)12:30～
場所／JRホテルクレメント高松

会長挨拶



会長 篠田日出海

今日は、外国人の四国お遍路さんについてお話ししたいと思います。

一昨日・昨日とブラジル人のお遍路さん15名を、一番札所の霊山寺から六番の安楽寺までアテンドしました。彼らは、3月18日から30日まで徳島県内の1番から17番、香川県内の68番から88番の大窪寺まで、歩き遍路をする元気なブラジリアン達です。

この案内役を依頼してきたのは、当クラブの元会員だった“四国遍路友の会”会長の松岡敬文さんからでした。私は、遍路は香川県内を少しした程度で、物見遊山気分の頗る不真面目なお遍路さんですが、彼ら歩き遍路さんの落伍者を車でピックアップする役をしてきました。

ここで、そもそも何故ブラジル人のお遍路さんなのでしょう

う。これは“四国八十八箇所霊場と遍路道”世界遺産登録運動との関連から始まりました。先程の四国遍路友の会の松岡会長が、スペインの世界遺産“サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路”を世界遺産登録の実態視察で巡礼しました。その折、日系ブラジル人の巡礼者に会って、四国遍路のことを紹介したのが切っ掛けです。

このスペインにあるサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼路はキリスト教の聖地で、ローマ、エルサレムと並んでキリスト教の三大巡礼地に数えられています。この巡礼路は、スペイン内をフランス国境から西端の大西洋岸までの800kmで、巡礼者は、2018年の統計では年間33万人を数えています。

ブラジルの話に戻りますと、ブラジルにはENDP（全国コンポステーラ巡礼会）と言うのがあって、今回のお遍路さんは、このENDPのメンバーで歩き巡礼をされている方々です。15人の内、日系人は7人いますが、彼らは日系三世で1人を除いて全く日本語が出来ません。年齢も50歳以上で、お爺さんが100年前に移民したとか言っていました。宗教には関係なく四国遍路を楽しんでいる様子です。

ところで、四国遍路のお遍路さんは、年間15～20万人とか聞いています。私は初めて遍路宿と言うのに彼らと泊まりましたし、スタンプラリーではありませんが納経帳の記帳、それに遍路地図帳の日本語版や英語版があること等、非常にシステムティックに出来ているのに驚きました。外国人お遍路さんの増加について徳島文理大学のモートン講師が分析論文を書かれているのを、ネットで読みました。それには、外国人お遍路の動機は、「日本の文化・歴史に興味」、「長距離歩き」、「チャレンジやアドベンチャー」、「人があまり行かないところ」の4つが主でした。そして、この4つに当てはまるのが四国遍路だけだと結論づけています。

今日の客話で山下理事長の講話が、この部分に及ぶかどうか存じませんが、外国人の四国お遍路について私の感じた事をお話ししました。

皆さん、今日も例会を楽しみ、有意義な時間を過ごすべく、よろしくお願い致します。

幹事報告

- 3月31日（日）地区研修・協議会（アスティとくしま）
- 3月26～30日 ロータリー少年少女キャンプ（余島）
藤田会員のご子息参加予定
- 4月24日 創立60周年記念例会・新会員歓迎例会
栗林公園商工奨励館北館にて
〈夜間例会〉18：30～20：30

本日例会終了後、第9回定例理事役員会開催

ココココ箱

田中(弘)会員「結婚記念花束をいただきました。有難うございます。結婚して41年が過ぎました。互いに良くシンボウしました。」

長町会員「誕生日プレゼントありがとうございました。お先に失礼します。」

新地会員「お先に失礼します。」

藤田会員「4/24栗林公園商工奨励館ご利用ありがとうございます。来週3/29～4/7まで、栗林公園花見ライトアップです。是非、お花見にいらして下さい。」

計¥8,000 合計¥434,670

会員掲示板

- メイクアップ
多田幹事、田中(理)会員、藤田会員、豊田PDG
- ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー 木村会員

2019年4月例会予定 母子の健康月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	講演者
37	3	12:30~	JRホテルクレメント高松	報告卓話 「ロータリー少年少女キャンプに参加して」	藤田徳子会員ご子息 藤田和佑君
38	10	12:30~	JRホテルクレメント高松	客話「神道と日本人」	石清水神社 宮司 吉見好博様 (高松北RC)
39	17	12:30~	JRホテルクレメント高松	客話「子ども食堂について」	香川県社会福祉協議会 地域福祉課主事 石田盟人様
		13:30~		第10回定例理事役員会	
40	24	18:30~	栗林公園 商工奨励館 北館	創立62周年例会 新会員歓迎例会	

2019年5月例会予定 青少年奉仕月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	講演者
	1			休会 (定款第8条による)	
41	8	12:30~	JRホテルクレメント高松	卓話「研修リーダーに参加して」	研修リーダー 吉田茂会員

4月の誕生者 ~おめでとうございます~

詫間 行芳、牟禮 昌忠 (1日)、小野 兼資 (5日)、岡 佳寿也 (9日)、
三宅 弘 (10日)、前田 恭典 (12日)、大橋 泰範、木村 征司 (15日)、
多田 耕三 (16日)、細溪 英一 (18日)、堀 一代 (22日)

2月出席率

例会日	正会員	出席免除	免除出席	出席数	欠席数	補填数	補正出席数	出席率
2月累計	244	56	33	151	70	20	171	77.40 %

編集後記

一十百千万億兆京垓稀穰溝澗正載極…数の単位が続く世界で、度々新聞紙上を賑わせている宇宙の果てからの重力波なら、私たちの夢も果てしなく膨らむものにしたいたいです。従来から、夢は見るもの、追うもの、かなえるものです。でも、夢をかなえたからと言って有頂天になってはいけな、と戒められています。物事が思い通りに運んだり、良い結果が出たりして、喜んで夢中になっている様子を「有頂天 (うちょうてん)」になっていると表現します。もともと、仏教の言葉で形あるものの世界の一番上の世界の事を「有頂天」というそうです。心が高揚し、幸せの絶頂の様子をこの有頂天に例えたものです。でも仏教の世界では、この「有頂天」にもまだ迷いがあり、この迷いを断ち切れば「阿羅漢」の悟りを得ることができる、といひます。喜びの余り「有頂天」になって、迷いの道に戻らないように気をつけましょう。というのが仏の教えです。

はやいもので、もう新年から4か月になります。年初

に描いた夢はどうか。もうひと踏ん張りで叶えられる。あるいは、平成の次がんばります。どれも未来につながる結果がほしいものです。半世紀も前に読んだダーウインの「種の起源」に著していた「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」。この「変化できる者」とは、まさに周りの状況や環境、また時代のながれを適格に把握し、「環境に柔軟に対応できるもの」と読み解いたとき、私たちも、その時々状況に臨機応変に対応していかなければなりません。自信にあふれたロータリーへの誘いが求められます。ニーチェの「ミネルヴァの梟は迫り来る黄昏に飛び立つ」の言葉は、身の回りの物事に行き詰まりが感じられる。このようときこそ、知の力が必要とされる。そして、知が混沌を打ち破る。そのことの表現とします。平成の最後に、ビートルズ最後のアルバム「アビーロード」の最後の言葉を。 And in the end, the love you take is equal to the love you make. (編集子)